

法定数3倍の **23,098筆**

区民投票の実施へ 品川区議会の可決を

**羽田
新飛行ルート
区民投票を
求める署名**

日本共産党

幅広い署名の取り組み

羽田新ルートの賛否を問う区民投票条例を区民の手でつくる約一ヶ月の間、取り組まれた署名は、23,098筆にのぼり、11月9日に提出されました。これは条例の請求に必要な法定数（有権者50分の1）の3倍を超える数。区民投票実施の強い願いのあらわれです。

この署名は、幅広い市民が参加する「品川区民投票を成功させる会」が取り組んだもので、3月に新ルートが強行され騒音や圧迫感など不安の声が広がる中、10月4日から始まりました。地域や自分の住むマンションを訪問したり、駅前やスーパー前での署名、町会役員が集めるなど、幅広い市民運動となりました。

議員も超党派で運動を応援。最終日に大井町駅前で行われたファイナル宣伝には、共産・ネット・立民・都ファ・N国の区議（写真）、共産都議、共産・立民の国会議員も参加しました。



11/3大井町・ファイナル街頭宣伝

一度区民に問うべき

国は新ルートを「地元の理解を得て進める」と説明してきましたが、住民は一度も直接賛否を問われたことはありません。にも関わらず国交大臣は「地元の理解は得られた」と発言し低空飛行が始まりました。これは余りに勝手な判断です。

ましてや、品川区はルート直下で最も被害の大きい自治体の一つです。その住民の民意を無視するとは許せません。

区民投票の実施へ、 自公に賛成のはたらきかけを

今後、区民投票の実施には品川区議会、定数40のうち過半数の20人以上の賛成で可決が必要です。

しかし現在、共産はじめ賛同区議は14人まで増えています。自民・自無・公明の3会派が賛成を表明していないため、可決のための過半数はまだ超えていません。

この条例は、あくまで区民が賛否を示す投票を実施するというもの。区議会は区民が意思表示する権利を保障するべきです。自公に賛成をはたらきかけ、可決へ力を合わせましょう。



共産党白石たみお都議(品川区選出)も参加しました

これからの流れ(予定)

署名簿の提出、
有効署名の審査、
区長に請求



住民より区選挙管理委員会に提出(11月9日)

12月中旬

区長が賛否の意見を添えて、区議会に条例案を提出

12月下旬

臨時議会が開かれ、委員会審査、本会議で採決

可決 ←

否決 ←

住民投票
実施へ

廃案

ご意見・ご要望を
お寄せください

**日本共産党
品川区議会報告**

発行:日本共産党品川区議団
2020年11・12月号 発行責任者:中塚 亮
TEL.5742-6818 FAX.3778-3088
ホームページ [共産党品川](#) [検索](#)

切実な区民の声を届け

PCR検査や

なりわい

生業を守るコロナ対策が一步ずつ前進

第3回定例会(9/17~10/22)。共産党は区民アンケート(返信3328通)や4回の緊急要望などに取り組み、区民の声と世論を背景に区議会論戦に臨みました。これが力と

なり、新型コロナウイルス対策を一步ずつ前進させることができました。一部紹介します。

アンケート結果はこちら▶

[品川共産党 2020アンケート](#)

検索

共産党の提案で区政を動かす

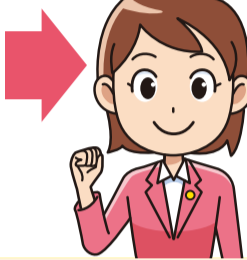
PCR検査の対象が...



今までは

検査すればいいというものではない

共産党



検査の拡充で感染拡大を抑えることこそ重要だ

実現!

介護及び障害者施設の従業員に検査実施、濃厚接触者以外にも検査対象拡大(学校等)へ

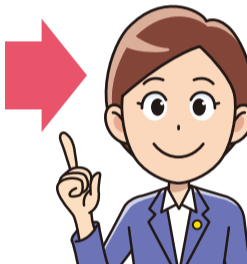
中小業者の家賃補助など直接支援は拒んでいたが...



今までは

直接支援は考えていない

共産党



未曾有のコロナ危機の中、一千億もの区積み立て金は暮らし支援に使うべき

実現!

家賃補助(国と都の制度)に区が独自に増額へ
品川区3万円給付金

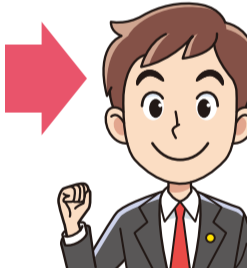
コロナによる中3の修学旅行キャンセル料の家庭負担が...



今までは

中止のキャンセル料については保護者にご負担願います(学校便りより)

共産党



コロナで中止になった上にキャンセル料まで負担させるとは。全額公費で負担すべき

実現!

キャンセル料は品川区が全額負担へ

他にも様々な支援が始まりました

- コロナ患者受け入れの3病院に支援金、従事者へ慰労金
- コロナ対応の介護報酬増に伴う利用料値上げ分を区が負担
- 私立保育園・幼稚園従事者への応援給付金
- 医師会の持出しとなっていた休日診療の委託費一部追加
- コロナ禍の災害時避難所の環境改善へ、パーティション等の備蓄購入

第三波へ更なる対策を

第三波に対応し、PCR検査の抜本拡充と、中小零細・個人事業主への継続的支援へ、更なる対策の追加には思い切った財源確保が必要です。共産党は「不要・不急の超高層開発や道路の見直し、あと16年もつ区庁舎の建て替え検討は延期して財源を確保し、コロナ対策に充てよ」と求めました。



生活相談はお気軽に

日本共産党品川区議団



鈴木ひろ子



なかつか亮



安藤たい作



石田ちひろ



のだて稔史



おくの晋治